

2019 年 4 月 19 日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

わが国のスポーツ振興ならびにスポーツ政策の形成に寄与する
「笹川スポーツ研究助成」2019 年度 49 件
総額 3,143 万円 助成決定のお知らせ

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する公益財団法人笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：渡邊 一利 以下：SSF）は、日本のスポーツ振興に貢献する優れた人文・社会科学領域の研究活動を支援する助成制度『笹川スポーツ研究助成』の 2019 年度採択研究を決定しました。

本年度は、全国から 269 件の申請があり、学識経験者などで構成する選考委員会による厳正なる選考を経て、49 件（総額：31,438,000 円）が決定いたしました。

なお本日、SSF 主催「笹川スポーツ研究助成」と日本科学協会主催「笹川科学研究助成」は、「研究奨励の会」を共同開催いたしました。（於：ANA インターコンチネンタルホテル東京）

2019 年度笹川スポーツ研究助成 採択件数ならびに助成総額

研究テーマ		申請件数	採択件数	助成額
① スポーツによる地域活性化	一般研究	55	9	10,466,000 円
	奨励研究	31	6	
② 子ども・青少年のスポーツの振興	一般研究	48	8	13,680,000 円
	奨励研究	56	15	
③ スポーツ・身体活動の普及促進	一般研究	35	5	7,292,000 円
	奨励研究	44	6	
合 計		269	49	31,438,000 円

主な採択研究 — 対象者氏名・研究テーマについては、2 枚目以降の「採択研究一覧」をご覧ください。

- ・ 藤本 浩由氏（福山大学 講師） 助成額 687,000 円
『中核市における地域スポーツイベントへの企業スポンサーシップに関する調査
—SDGs との関連性とまちづくりへの利用可能性を中心に—』
- ・ 田中 暢子氏（桐蔭横浜大学 教授） 助成額 1,000,000 円
『パラリンピアンキャリアデザインに関する国際比較研究』
- ・ 綾部 誠也氏（岡山県立大学 准教授） 助成額 938,000 円
『災害からの復興に伴う日常身体活動の変動に貢献する社会・環境要因に関する研究
—平成 30 年 7 月西日本豪雨被害地域を対象として—』

■『笹川スポーツ研究助成』について

2011 年度に創設した助成制度です。スポーツに関する人文・社会科学領域の研究活動を支援し、わが国のスポーツ政策に関する議論を活性化させることを目的としています。募集のテーマは、①スポーツによる地域活性化 ②子ども・青少年のスポーツの振興 ③スポーツ・身体活動の普及促進 の3つとなります。

助成額は上限 100 万円の「一般研究」と、39 歳以下の若手研究者を対象とした助成額上限 50 万円の「奨励研究」のふたつの枠で募集を行っています。

【本件に関するお問い合わせ先】

笹川スポーツ財団 研究助成担当：宮本・清水（恵）・吉田

TEL：03-6229-5300 grant@ssf.or.jp

2019 年度 笹川スポーツ研究助成 採択研究一覧＜一般研究＞

テーマ1. スポーツによる地域活性化

名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
秋吉 遼子	東海大学	特任助教	災害時の公共スポーツ施設のあり方 ー施設管理者の対応と指定管理者の選考・協定に着目してー	1,000,000
下嶋 聖	東京農業大学	准教授	国内開催のトレイルランニング大会の環境レジリエンス指標の構築 ー地域振興及び環境保全を両立した開催方法に向けてー	622,000
藤本 浩由	福山大学	講師	中核市における地域スポーツイベントへの企業スポンサーシップに関する調査 ーSDGs との関連性とまちづくりへの利用可能性を中心にー	687,000
岡安 功	広島経済大学	准教授	スポーツ参加による社会的包摂に関する研究 ーカナダの地域スポーツに着目してー	750,000
伊藤 克広	兵庫県立大学	准教授	都市型ホテルをベースにしたスポーツプログラムのアクションリサーチ	750,000
山口 志郎	流通科学大学	准教授	サイクルイベントから生じるインパクトの最大化 ーステークホルダー視点のイベントレバレッジ戦略と社会効果の検証ー	1,000,000
庄子 博人	同志社大学	准教授	ストック適正化に向けた公共スポーツ施設のベンチマークに関する研究	1,000,000
高松 祥平	神戸親和女子大学	講師	プロスポーツチームの活動が地域にもたらす社会的インパクトの効果検証 ー観戦者、地域住民、及びスポンサー企業の比較ー	1,000,000
和田 崇	県立広島大学	教授	過疎地域における高校スポーツの存立基盤と地域コミュニティに与える影響に関する研究	746,000

テーマ2. 子ども・青少年のスポーツの振興

名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
田中 千晶	桜美林大学	准教授	幼児の 24 時間ガイドラインと運動機能および認知機能との関係	1,000,000
古川 拓也	大阪成蹊大学	講師	学校運動部活動指針に対する保護者の態度を規定する要因	970,000
田中 暢子	桐蔭横浜大学	教授	パラリンピアンキャリアデザインに関する国際比較研究	1,000,000
宮口 和義	石川県立大学	教授	幼少期に有効なラダー運動プログラムの開発 ー今の子どもの調整力・運動有能感を高めるラダー運動の研究ー	547,000
香村 恵介	静岡産業大学	講師	AIを活用した子どもの動作発達評価システムの開発	1,000,000
須藤 路子	順天堂大学	教授	幼児期における運動が言語能力と社会認知能力の発達に与える影響 ー「心の理論」の共感性の観点からー	751,000
清水 安夫	国際基督教大学	上級准教授	運動部員の部活動適応感およびスポーツパフォーマンスに影響する指導者のコーチング能力に関する研究 ー中学・高校の部活動顧問へのフィードバック用のセルフ・コントロール感尺度およびコーチング評価尺度の開発ー	1,000,000
中島 寿宏	北海道教育大学 札幌校	准教授	スポーツ指導者の関わりが子どもの運動学習における対話的場面に与える影響 ー可視化データによる指導スタイルと言語的コミュニケーションとの関わりを検証ー	718,000

テーマ3. スポーツ・身体活動の普及促進

名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
綾部 誠也	岡山県立大学	准教授	災害からの復興に伴う日常身体活動の変動に貢献する社会・環境要因に関する研究 ー平成 30 年 7 月西日本豪雨被害地域を対象としてー	938,000
辻 大士	千葉大学	特任助教	高齢者の「みる」スポーツの普及促進に向けた大規模疫学研究	971,000
板谷 厚	北海道教育大学 旭川校	准教授	園庭の雪面の多様化が幼児の屋外遊び、身体活動量、および運動能力に与える影響	659,000
根本 裕太	東京都健康長寿 医療センター研究所	非常勤 研究員	若年層から高年層を対象とした他者との交流頻度の変化が運動実施頻度に与える影響 ー3 時点パネルデータに基づく分析ー	1,000,000
植木 章三	大阪体育大学	教授	住民が主体的に提案したアダプテッド・スポーツの普及とその効果 ー介護予防活動プログラムとしての提案ー	1,000,000

2019 年度 笹川スポーツ研究助成 採択研究一覧<奨励研究>

テーマ1. スポーツによる地域活性化

名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
青山 将己	神戸大学大学院	大学院博士 後期課程	ユニバーサル・スポーツツーリズムの推進に向けた東京 2020「共生社会ホストタウン」 事業の活用と最大化	500,000
醍醐 笑部	早稲田大学	助教	地域課題型チャリティスポーツイベントにおける基礎的研究 ーアクターの把握と社会的インパクト評価の適応に向けてー	500,000
弓田 恵里香	仙台大学	講師	地域資源活用に向けた課題の抽出と構造化 ー我が国のスポーツコミッションに着目してー	492,000
遠藤 華英	早稲田大学大学院	大学院博士 後期課程	発展途上国アスリートに対する国際協力の社会的評価	500,000
吉沢 直	筑波大学大学院	大学院博士 後期課程	スキーリゾートにおけるインバウンド・ツーリズムの発展構造 ー新潟県湯沢町への中国・香港・台湾観光客の来訪に着目してー	450,000
松原 優	早稲田大学大学院	大学院修士 課程	高校野球地域代表チームのファンコミュニティの解明 ーソーシャルネットワーク・クオリティの特性に着目してー	469,000

テーマ2. 子ども・青少年のスポーツの振興

名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
中須賀 巧	兵庫教育大学	助教	運動部活動における動機づけ雰囲気と部員を取り巻く周囲からの期待感が試合前の 不安に与える影響	440,000
中村 泰介	園田学園女子大学	准教授	Emotion based Coaching の構築に向けた基礎的研究 ースポーツ若年層年代選手の「個の強さ」を育成するためのコーチングメソッドー	418,000
清水 智弘	法政大学大学院	大学院博士 後期課程	グッドコーチ育成のための教育プログラム開発と効果検証	500,000
加納 裕久	愛知県立大学	客員共同 研究員	幼児の跳動作における定位能力・分化能力の形成に関する研究 ー運動遊びプログラムの効果の検討ー	350,000

狩野 洸太郎	大阪市立日吉小学校	教諭	小学校体育授業における授業改善ルーブリックの開発と有効性の検証 ー教師の“困り”から考える3ステップの指導段階のルーブリックー	364,000
筒井 香	株式会社ポリゴン	研究員	多様なポジティブ・コーピング尺度の作成 ーデュアルキャリア実現に必要な心理的スキルの測定と獲得に向けてー	497,000
中山 健二郎	立教大学大学院	大学院博士 後期課程	高校野球に対する価値観の揺らぎに関する研究 ー「鍛錬主義」と「科学主義」のせめぎ合い、および SNS の作用に着目してー	499,000
大坪 健太	岐阜大学大学院	大学院修士 課程	幼少連携および接続に着目した年少から小学校3年生までの体系的な投運動プログラムの開発と効果の検証 ーACP の概念を取り入れた投能力および捕球能力を向上させる運動プログラムー	450,000
當山 貴弘	兵庫教育大学大学院	大学院修士 課程	運動場面における劣等コンプレックスと運動有能感の因果関係の推定	500,000
夏原 隆之	東京成徳大学	准教授	青年期の子どもを対象とした非認知能力アセスメントツールの開発	500,000
佐藤 冬果	筑波大学大学院	大学院博士 後期課程	Self-authorship の発達を促す体育授業モデルの開発とその評価	459,000
篠原 俊明	東京未来大学	専任講師	朝活動における運動遊びの導入が児童の身体活動量および運動習慣に及ぼす影響	499,000
塩多 雅矢	部活体塾	部活動外部 指導員	運動部活動における外部指導員の育成カリキュラムの開発 ー指導者および被指導者への調査および外部運動指導員を目指す学生による指導実践への参画を通してー	312,000
古内 孝明	仙台高等専門学校	助教	知覚された有能感の向上が、学習者の技能や社会性に与える影響 ーICT を活用した協同学習を適用した柔道授業の実践ー	499,000
林田 敏裕	筑波大学大学院	大学院博士 後期課程	学校運動部活動をめぐるイノベーションに対する教員志望学生の態度に影響を与える要因に関する実証研究 ー複数種目制運動部に焦点をあててー	407,000

テーマ3. スポーツ・身体活動の普及促進

名前	所属機関名称	職名	研究タイトル	助成額
城所 哲宏	国際基督教大学	特任講師	小学校学級における長期的なスタンディングデスクの導入が児童の座位活動パターンに及ぼす影響	409,000
奥山 健太	島根大学	研究員	中山間地域在住高齢者の身体活動実施率および体型に影響を与える近隣居住環境要因の検証 ー10 年間の縦断コホート研究ー	500,000
山本 直史	愛媛大学	准教授	ゴルファー増加を目指した普及戦略の構築に向けた基礎的研究 ーゴルフ行動の規定因の同定ー	500,000
吉野 伸哉	早稲田大学大学院	大学院博士 後期課程	ウォーカビリティ(walkability)の高い地域に住む人々は幸福なのか ー都市と郊外の比較による検討ー	468,000
薛 載勲	筑波大学大学院	大学院博士 後期課程	地域高齢者の身体活動促進と普及・定着を目指す“シニアストレッチリーダー”養成法の開発とその効果検証 ー自治体と連携した自宅でのストレッチ実践を推進する高齢ボランティア養成は健康増進施策の一翼を担い得るかー	347,000
神藤 隆志	明治安田厚生事業団 体力医学研究所	研究員	勤労者における座位行動改善プログラムの提案 ー連続座位(座りっぱなし)中断セルフエフィカシー尺度を活用した検討ー	500,000

※2019 年 4 月 1 日現在の情報